



吉川三津子 議員

### 3歳未満児の保育環境の充実を

質問

市子ども子育て会議の子育てニーズ調査では、面積的には足りているとの結果だった。しかし、最近、3歳未満児の保育ニーズが増加しているが、年齢に応じた静かさや安全など施設環境、距離などの利便性は確保できているのか。

福祉部長

現在、3歳未満の保育は、定員がいっぱいである。面積だけで考えれば、保育施設は余っているが、小さい子どもに見合った施設になっている

かと言われると、十分充足していると言えない。

今後、保育施設の整備、立地などの工夫をしていきたい。

質問

佐織保育園では、3歳未満が定員いっぱいに入園できず、施設の老朽化も進んでいる。合併前から建て替えが約束されていたが、今後の方針は。

また、今後の市立保育園の運営方針を伺う。

市長

市立保育園は、佐織地区1



▲佐織保育園

園、佐屋地区3園あり、民間保育園は園児不足となっている。市立保育園は、民間保育園で受け入れが難しい方を、責任をもって受け入れていく。佐織保育園の状況は把握しており、安全安心な保育園運営をしていく責任がある。方針が決まり次第発表する。

### 要支援者の行き場をなくすな

質問

介護保険制度改正により、要支援者のサービスが介護保険の予防給付から外され、市町村事業となる。財政状況や施策の優先順位により自治体間格差が出てくるが、市としてどんな準備をしているか。

福祉部長

国からのガイドラインが示されており、単価を決めないと進まないのが現状だ。今回の改正は、日常生活支援を多様な受け皿で担い、きめ細やかなサービスをつくるという大きな柱もある。その受け皿となる団体との話し合いは、更に広げていく。

質問

要支援者がどこでどんなサービスを利用しているかの必要量調査や、事業所が任意で行っているサービスなどの実態調査をし、準備している自治体もあるが、市は手つか

ずだ。

今後、事業所だけでなく、生活支援事業を行うNPOなどの受け皿づくりも必要になり、市と共に作り上げていく体制が重要だ。市は窓口で待つのではなく、職員自らが外に出て接点を持ちながらサービスづくりをしていかなばならないのではないかと。

福祉部長

そのとおりだ。拡大するニーズにこたえるため、掘り起こし育て、参画してもらえらる団体を増やしていきたい。

その他の質問

・環境汚染のない企業誘致を  
・大切なのはサービス内容。  
将来を見据えた支所整備を